

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS



No.274 令和7年8月14日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

令和7年 第2回 定例会

会期：6月11日～7月4日の24日間

目次

- 代表質問／閉会中の主な活動 … 2～3面
- 一般質問…………… 4～6面
- 定例会活動報告 …… 6～7面
- 本会議における討論 …… 7面
- 可決した意見書等 …… 8面
- 委員会で取り扱った請願・陳情 …… 9面
- 議案の審議結果等 …… 10面

千代田区議会 1年の活動紹介

議会の 1年

千代田区議会には条例の定めにより
毎年2月、6月、9月、11月の年4回開会される「**定例会**」と、
必要に応じて開会される「**臨時会**」という会議体があります。

定例会

区長から提出された議案(条例、契約等)、
議員から提出された議案(意見書等)、受理
した請願等を審議します。

臨時会

- 定例会の期間外に議会に付議する必要がある事件が発生した場合に開会します。
- 議員の改選期には、議長・副議長の選挙を行う臨時会を開会します。

千代田区議会では、「**代表質問**」と「**一般質問**」を定例会ごとに行っています。

▶代表質問

- 所属する会派を代表して**、区の仕事全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などについて行う質問が「代表質問」です。
- 質問時間は24分(再質問1回含む)

▶一般質問

- 発言を希望する議員が**、区の仕事について幅広い視点から行う質問が「一般質問」です。
- 質問時間は15分(再質問1回含む)



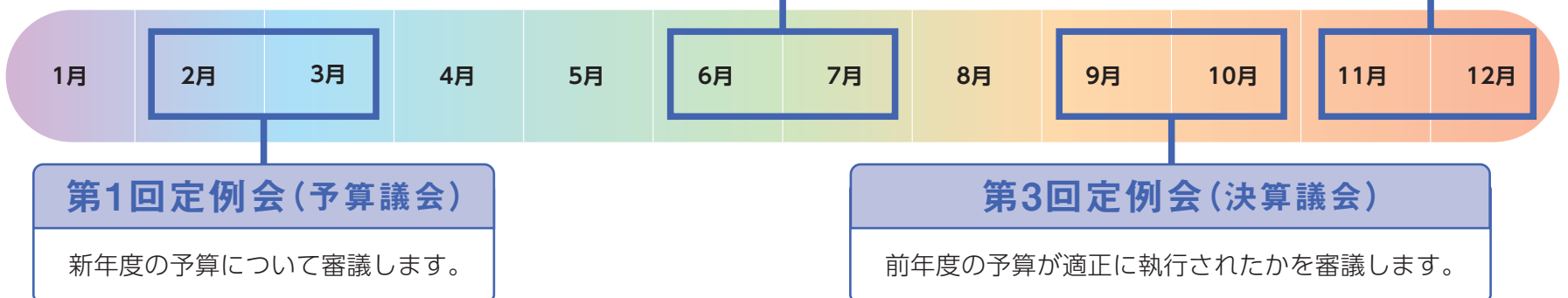
定例会の様子

※会派とは

議会内で結成された同じ考えを持った議員のグループのことです。千代田区議会では、1人でも会派を結成することができますが、代表質問は構成員が2人以上の会派に限りま

第2回定例会

第4回定例会



令和7年第2回定例会 会期日程 (会期:6月11日～7月4日の24日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程
6/11	議会運営委員会
	本会議(会期の決定・区長招集挨拶等)
12	議会運営委員会
23	議会運営委員会
24	本会議(代表質問・一般質問)
25	本会議(一般質問・議案の付託等)
27	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会

月/日	本会議・委員会関連等日程
30	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
7/1	議会運営委員会
2	企画総務委員会
	文教福祉委員会
3	環境まちづくり委員会
	議会運営委員会
4	議会運営委員会
4	本会議(議案の議決等)

Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

次世代・都民ファースト・立憲の会 岩佐 りょう子



安全安心なまちづくりに向けた取り組みについて

問 ①本区における人口当たりの刑法犯認知件数は23区中最も高い水準。安全・安心を取り巻く状況への認識は②地域防犯パトロールや防犯カメラ設置の取り組み等を連携させ効率化する等、組織横断的で総合的な安全・安心施策をどう戦略的に推進していくか。

答 ①認知数は犯罪リスクの正確な反映ではないが、



犯罪報道や身近ないたずら行為等で体感治安は悪化と認識。総合的な対策の推進が必要②区の組織間、地域、警察、事業者が協力し割れ窓理論の実践に取り組むほか、DXを含め総合的な戦略策定を検討していく。

神保町のまちづくりへの総合的な支援について

問 街並み再生や支援体制構築、事業継承といった課題への見解は。

答 街区再編まちづくり制度を活用し文化的資産の継承や街並みを維持するほか、都や国と役割分担し地域に寄り添った支援に努める。

マンションと町会コミュニティの連携について

問 町会とマンションコミュニティの連携は地域全体の活性化や環境の改善につながる。まちみらい千代田による管理組合のコミュニティ活動への経費補助が増額となるよう、見直し検討の要請を。

答 区として事業趣旨に適した助成が受けられるよう調整していく。

千代田区議会 自由民主党 小林 たかや



町会・地域コミュニティ支援について

問 町会役員の高齢化、加入率の低下に対し、担い手確保・育成や加入促進のための予算措置・制度改革をどう進めるのか。防災や防犯との連携等、京都市の事例も参考に具体策を講じるべきでは。

答 全町会対象のアンケート結果を踏まえた支援策を検討。7年度中の試行的な取り組みも視野に入れ京都市や新宿区の条例も参考に検討する。また防災訓練等各地域での活動の可視化にも取り組む。

中高生世代応援手当について

問 手当の目的や将来像は。中高生の暮らし・学びや地域の子育て環

境をどう実現するのか。支援の方向性を明確にすべきでは。

答 手当は教育費等の負担軽減が目的。区民ニーズ等の実態調査を通じて効果検証を行うほか、基金を活用し制度の持続的運用に努める。また他自治体事例も参考に中高生の居場所づくりを検討する。

和泉小学校・いずみこども園等施設整備について

問 和泉公園敷地への移転や隣接地購入、旧ポンプ所跡地活用、交差点改良等に対し、周辺交通への影響を踏まえた具体的な考えは。

答 施設と公園の一体的整備構想として都市計画変更手続きの開始を目指す。土地購入は考えていないが、旧ポンプ所跡は公園閉鎖中の一部機能代替で活用予定。交通管理者との協議も適切に行う。



千代田区議会自由民主党議員団 白川 司



少子化対策としての若年層支援を考えているか

問 若年層ができるだけ結婚しやすい環境を整えることが、少子化対策の最も重視すべき課題の一つと考える。今後の区の実施は。

答 結婚に対する価値観が変化中、どのような策を講じることが有効か、区の地域資源を活用した交流の場の創出等の様々な施策を検討するほか、都の取り組みの周知等、支援のあり方を研究する。

教育で伝統的価値も尊重する姿勢があるか

問 都市部は地方からの流入が多く、それだけに伝統的価値がおろそかにされがち。都市部こそ多様性をはじめ新しい価値観と同じ

ように教育において伝統的価値も尊重していくべき。区の姿勢は。

答 伝統的・本質的な不易性と変化し続ける流行性はどちらも大切。様々な教育活動を通じ多様な価値観の中で普遍的な見方や考え方を身につけられるよう、両者を共に尊重した教育の充実に努める。

学生のための学習スペースを確保しているか

問 区立図書館の学習スペースは取合いの状況。区の住宅事情を踏まえ区民の学生が自宅外で過ごせる自習室等を十分に確保すべき。

答 区立中学校図書室の利用時間を拡大するほか、8年度開設の四番町図書館・児童館への中高生専用ルーム設置等、居場所の拡充を図る。今後は現状を分析しつつ、多様な居場所づくりに取り組む。



出所：議員本人提供

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

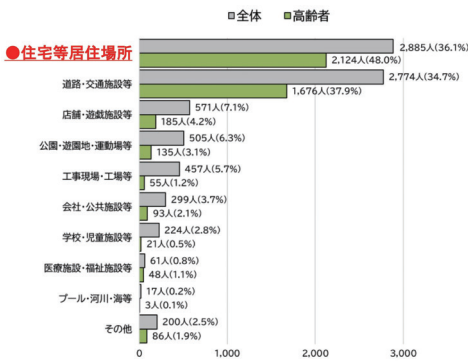
公明党議員団
えごし 雄一



熱中症対策について

問 ①区職員の対策は②区事業を行う事業者等の対策は③適切な冷房使用周知を④経済的事情でエアコン購入が難しい世帯へ補助を。
答 ①注意喚起や空調服貸与等を実施。今後も実効性ある取組みを推進②事業者での対策を基本とし啓発チラシ配布等を検討。シルバー人材の空調服購入補助等、今後も

熱中症の発生場所



発生場所別の救急搬送人員(令和6年6月～9月)
(出所:東京消防庁ホームページ)

支援③戸別訪問で熱中症予防を啓発。冷房使用の啓発強化も検討④本区の実態分析・他自治体の事例を研究。東京ゼロエミポイントの一層の周知も図る。

(区内の)蚊など害虫対策について

問 ①多発場所の確認・把握は②区道や公園等、制御剤投入や植栽剪定等の発生抑制対応は③都と連動した周知・徹底の取組みを。
答 ①例年把握済②過去の発生場所等に防除剤を投与。植栽は夏前に剪定③都リーフレット等を活用し発生防止の啓発に取り組む。

防災対策について

問 ①避難所運営の現状の課題は②地域の誰でも避難所運営できるシステム・環境づくりをさらに進めては③災害関連死の防止に各避難所へ断熱効果とクッション性のある簡易的エアマット導入を。
答 ①区の支援体制構築や区民の防災意識向上が必要②支援体制構築に向け庁内検討中③避難所環境改善に向けて調査研究を進める。

日本維新の会千代田議員団
春山 あすか



DX人材・財政情報の可視化・千代田区モデル化

問 ①ITの専門知識を持つ人材の継続的な確保が必要だが、区の人材確保に関する考えは②事業単位の財政情報の可視化まで大胆に踏み込んで③区の成果をDXモデルとし他自治体と共有しては。
答 ①GovTech東京への職員派遣、DXサポーターズの育成等、多岐にわたる人材育成策を展開中②技術的・制度的な課題を整理しつつ区民が直感的に把握できる形での情報提供を目指し研究③標準化、生成AI活用等の成果を積極的に展開し、連携の強化に取り組む。

国民健康保険制度の課題・外国人の未払い問題

問 外国人の滞納状況をどう把握しているのか。システムや制度に

不備があるなら国に働きかけていく必要があるのではないか。
答 国のシステム標準化により把握できない限り、今後も自治体による調査や把握は困難。国政の場で議論されるべき課題と認識。

人中心のまちづくりに向けた道路空間再編

問 東京の中心である本区こそ日本を代表する人中心のまちとなるよう積極的に公共空間の再編に取り組むべき。今後の進め方は。
答 ウォーカブルなまち、人中心のまちづくりをより発展的に進めるために、公共空間、特に道路空間再編を一つの手段と考え、地域の人々が交流できる場を地域特性に応じ創出できるよう推進する。



人中心の道路空間へ
～ はじまる、御堂筋。～
・道路空間再編担当の設置
・御堂筋の側道を歩道空間化
・電柱の地下埋設
<https://midosuji-challenge.jp/>

道路再編・公共空間再編(国内事例) (出所:議員本人作成)



3月～6月の主な活動 (3月28日～6月10日)

月/日	日程
4/25	議会運営委員会
	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
5/14	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	公共施設調査・整備特別委員会
	文化継承・コミュニティ活性化特別委員会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
16	〈令和7年第1回臨時会告示日〉
	議会運営委員会
22	議会運営委員会

月/日	日程
23	議会運営委員会
	令和7年第1回臨時会
	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
29	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
30	議会運営委員会
6/4	〈令和7年第2回定例会告示日〉
	議会運営委員会
5	政務活動費交付額等審査会
10	議会運営委員会

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

田中 えりか (国民)



行財政効率化と可視化の取組み

問 新規事務事業の導入時に既存事務事業を見直すことで行政コスト増加を抑制するOne in One out (一増一減) 等のルール導入とデジタル化を連携させ行財政効率化に取り組み、予算概要等で成果の可視化を。
答 行政サービスの種類や対象により困難な部分はあるものの、必要なサービスの継続的な提供に資する有効な手法と認識。DXとの連携も今後の検討の参考とする。

防災ギフトカタログ等の活用

問 「最高水準の災害対策、世界一安全・安心なまち」の推進にあたり、本区における在宅避難を推奨する自助への取組みサポートのため、ギフトカタログ配布の実施が有効と考えるが、区の見解は。
答 防災カタログギフトの配布は自助の推進や防災意識の向上等で利点がある。課題を整理するとともに、他自治体の取組みも参考に調査研究していく。

池田 とものり (自民党)



まちの環境美化について

問 ①放置自転車対策に欠かせない駐輪場設置の現状は②公衆喫煙所設置目標値の見直しや補修等の状況は③ごみ出しルールの徹底に向けた条例化の検討状況は。
答 ①神田駅西口に区の一時利用駐輪場を整備中だが、民設民営の取組みも後押しする②引き続き100か所を目指す。補修は運営事業者が行うが、職員巡回により対応を促す③アンケート等を実施し現行条例にルールの徹底を盛り込むことを検討。

食品ロス削減全国大会に向けて

問 区の特性を生かした開催の検討状況は。
答 数多い飲食店の食品ロス削減推進等を目指し先進的な事例の紹介等を実施予定。



出所：議員本人提供

牛尾 こうじろう (共産党)



住み続けられる千代田区のため

問 大型再開発等により都心の家賃は上昇し続けている①区営住宅落選者等も居住安定支援家賃補助対象に②民間マンションの空き室を借上型公共住宅に③再開発ビルに区営九段住宅を配置しない理由は。
答 ①事業目的を考慮すると課題が多い②区内住宅ストックの約1割が空き室。現状を調査し今後の展開を検討③動線の課題や整備方針で庁内議論があり見送った。

道路整備は住民合意に基づいて

問 住環境の改善を通じた地域コミュニティの育成もまちづくりの目的で住民の分断があってはならない。今後の神田警察通りの整備でさらに住民間や区との溝が深まることを懸念。歩道の有効幅員を縮小する経過措置の適用等、柔軟な対応を。
答 区条例では経過措置を設けていない。長年の協議会での議論や議会の議決、司法判断等を踏まえ、計画を着実に進める。

永田 壮一 (自民)



危機管理体制と自衛隊との連携

問 自治体には通常業務の延長で危機管理対応するしかない課題がある①自衛隊との情報共有や有事の支援受入体制は②首長を補佐する防災監に退職自衛官の採用を③区の災害対策・危機管理課の人材配置や他部署との連携状況は④担当が明確ではない課題への対応は。
答 ①日常的に連携し情報を共有、訓練にも相互参加し有事の受入れに備えている②総務課で退職自衛官2名を採用した。防災監は今後検討③東京消防庁より派遣者1名配置。各関係部署とは総合防災情報システムで情報共有や連絡調整を行う④災害対策・危機管理課が課題を整理し、都や警察等と調整して迅速に対応する。



第一普通科連隊 (出所：議員本人提供)

ふかみ 貴子 (次世代)



DXと地域共生コミュニティ

問 ①AI対話型窓口の設置、公共スペースへの対話型バーチャル窓口の設置検討を②IoTや遠隔支援などを活用したシニアの自立生活支援体制の構築の検討を③地域課題解決に向けたデータ公開と官民連携型プラットフォーム構築への所見は。
答 ①有効性の検討に向けて環境を整備し、導入や活用方法を研究②IoT機器活用も含め、衰えた機能を補い高齢期の生活を安心して謳歌できるよう可能な取組みを検討③様々なデータを公開しており、今後もデータの充実や利活用の側面から民間の力を活用した地域課題の解決を推進。

情報リテラシー

問 「情報リテラシー」教育や推進体制の整備など、今後の取組みの方向性は。
答 学識経験者等との意見交換等を通じて現状理解を深め、基礎自治体としての役割や今後の方向性について検討していく。

富山 あゆみ (自民)



情報アクセスのバリアフリー化

問 行政機関等への連絡手段は電話に限られることが多く、耳の不自由な方の大きなバリアになっている。情報アクセス補償の一步として、電話リレーサービスを活用した手話通訳を速やかに導入しては。
答 当該サービスは自宅等からの相談に有益。本区に合致した導入方法を検討する。

デフリンピック・体育大会

問 障害者理解の積極的な啓発。年齢や身体機能の隔たりを超え、より多くの区民が楽しめる体育大会の実現を。
答 都や教育委員会と連携し、啓発や気運醸成に取り組む。体育大会では多様な区民が主体的に参加できるよう工夫する。



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック大会エンブレム (出所：議員本人提供)

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

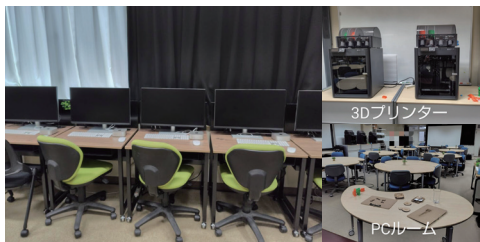
西岡 めぐみ (自民党)



シリコンバレー・グーグル本社 研修で生徒等へ最先端IT技術を

問 DXハイスクール指定事業のパイロット校として区立九段中等教育学校ではICT教育を充実させており、今秋にはアメリカシリコンバレーのグーグル本社を訪問してイノベーションの本場で生徒達の可能性を広げる積極的な取り組みやスキル向上を目指している。区は将来的に、海外研修やICT分野で蓄積された人材や経験、手法、教材等を当該校のみならず他の区立学校でも共有しては。また地域全体のデジタル対応力を高める施策や取組方針は。

答 様々な教育機会の創出に努めながら、区全体の教育水準の向上を図っていく。



区立九段中等教育学校のICT教育 (出所:議員本人提供)

はやお 恭一 (自民党)



官製談合への組織的関与の有無

問 ①前副区長の刑事確定訴訟記録(供述調書)には、元区議の契約に関する問合せへの対応を元職員に指示したことが記されている。前副区長の関与を認めていない区の再発防止報告書とは矛盾。説明を②新聞・メディア報道も区の組織的関与を指摘。特に上層部の指示・黙認の可能性の徹底的な再検証が必要。

答 ①区の報告書は捜査機関の決定や裁判所の判決を踏まえており矛盾はないと認識②起訴・書類送致対象外の事件も調査し報告書をまとめており再検証は不要。

長年の不正行為常態化の検証を

問 公判を通し10年にわたる不正行為の存在が示唆された。抜本的な改善には、過去も含めた徹底的な新たな調査が必要。

答 報告書の再発防止策を着実に実行すべく、再発防止に向けた全職員の強い決意の下、全庁を挙げて取り組んでいく。

入山 たけひこ (次世代)



祭礼文化の継承の支援について

問 多岐にわたる意義を持ち地域コミュニティの求心力でもある祭礼文化の継承支援について、区の基本的な考えや方向性は。

答 祭礼文化は世代や立場を超えた交流を生む貴重な文化資源。文化財の継承、コミュニティ活性化、町会のアイデンティティ確立の観点から支援手法を検討する。

今後の神田警察通りの道路整備

問 ①交通量が多く歩道幅員が狭い神田駅方面から整備を進める等、どのようにスピードアップを図り、安全・安心でウォークアブルなまちづくりを進めるのか②工事妨害による遅延と経費増の負担をその行為の関係者に求める検討のその後は。

答 ①V期工事までの計画策定、警察協議、予算議決を終えており、今後は計画的かつ効率化しスピードアップを図る②遅延等で既に約1億円の経費増。責任は妨害者にあると認識、対応は今後も検討。

米田 かずや (公明)



小中学校でのネイティブ人材

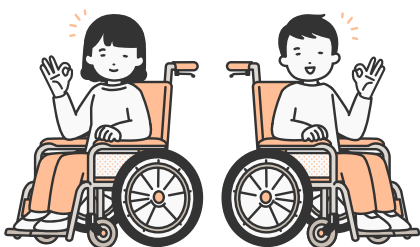
問 ①区立学校の英語指導体制や学習成果の分析と評価は②マンツーマンオンライン英会話の導入や拡充を検討しては。

答 ①全校へのALT派遣等により全国学力・学習状況調査で全国・都平均を大きく上回る成績②オンラインを含めたマンツーマン英会話の機会を創出し、能力向上や英語好きの児童・生徒の増加を目指す。

障がい児の登下校支援について

問 肢体不自由や医療的ケア児の通常級通学が増加。特別級と同様の登下校支援を。

答 肢体不自由のある児童・生徒の移動の困難さは認識しており、状況に応じた支援を福祉や医療の関係機関とも検討する。



桜井 ただし (自民)



防災システムの活用について

問 ①膨大な情報にリンクしているが区民が使いやすいものか②ポータルサイトやアプリの周知は③区内主要道路等のライブカメラ映像を防災システムで活用を。

答 ①平時と有事で画面を分ける等工夫。他自治体等も参考に更新する②郵便局との連携等で一層周知する③課題はあるが、カメラの所有者と接触し、検討していく。

防災リーダーの育成は大切

問 地域の防災リーダー育成は極めて重要。若者や女性等多様な層からの育成が防災力強化につながると考える。区の見解は。

答 防災フェスタで養成講座を同時開催して参加者増を図り、防災力強化につなぐ。

災害の発生時に特に知りたい情報はなにか 第140回 千代田区民意識調査	
1	電気、水道などのライフラインの情報
2	被害の状況
3	災害の規模や気象情報
4	家族や知人の安否情報
5	道路や鉄道の情報
6	避難所などの開設状況

出所:議員本人作成

のざわ 哲夫 (維新)



千代田区自動運転技術早期導入

問 自動運転先端技術には巡回警備、道路清掃、人物の移動の3点があるが、これらの実現と運用の効率化を目指し組織的に統合利用すべき。区の考えはいかがか。

答 少子高齢化など社会経済状況が大きく変化する中、自動運転の技術は区も早期に導入に取り組む必要があると認識。まずは運転主体がドライバーであるレベル2での実証実験の導入を検討し、自動運転の課題を区として整理する。その後は路車協調システム等の導入やプラットフォームの在り方等の調査や研究を進める。巡回警備、道路清掃、人と物の移動等の新たなモビリティについても今後の課題として受け止め、研究を深めていく。自動運転の最新先端技術の動向を注視するとともに、都と緊密に連携を図りながら、区職員の知見やノウハウを蓄積しつつ、今後の区政課題の解決に自動運転技術をつなげるための取り組みを進めていく。

一般質問（要旨）

小枝 すみ子

（声）



公益通報者保護に関する認識

問 公益通報を行った元部長への退職金返還命令は通報者保護の観点から懲戒権濫用の疑義がある。告発者への制裁の側面があり通報を抑止するものではないか。

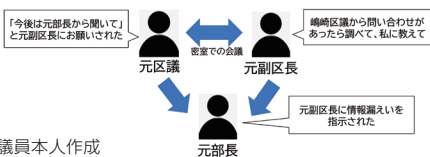
答 職員の有罪判決が確定した場合、条例に基づき全額返納が原則。一部返納命令はことさら不利益な取扱いではない。

官製談合事件と二元代表制

問 ①改めて第三者委員会を設置し刑事確定記録の確認等を行い、報告書の書直しを②二元代表制とは何か。区の考えは。

答 ①報告書の書直しや組織体制の見直しは考えていない②相互の抑制と調和によって地方自治の適正な運営を行うもの。

元副区長と元区議の両方から指示・依頼



出所：議員本人作成

岩田 かずひと（次世代）



千代田区官製談合事件について

問 供述調書により区の組織ぐるみの犯行は明らか①区が上層部の漏洩指示を認めたとの報道が誤報なら抗議すべき②内部告発し処分された元部長は最大の功労者。退職手当を返納すべきは元副区長では。

答 ①判決で前副区長の謀議への関与は認められておらず、報道についてはホームページ上で指摘。今後も適切に対処②条例や裁判所の見解に従い対応している。

福島原発放射能汚染土について

問 ①首相官邸で再利用と称して使用することを承知していたか②人体に影響を及ぼす懸念があり、早急に説明会を行って区民の意見を聞き、環境省に伝えるべき。

答 ①政府が本年5月27日に決定した基本方針において、官邸での利用検討をはじめ率先して先行事例の創出等に取り組むとの記載があると認識②具体的な内容は現在政府で検討中、その結果を注視する。

定例会 活動報告

常任委員会

企画総務委員会

議案10件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「令和7年度千代田区一般会計補正予算第1号」は、補正前の額、753億5,305万2千円に、7,600万円の予算額を追加し、補正後の一般会計予算額は、754億2,905万2千円です。

内容は、「個人宅向け防犯機器等購入緊急補助」及び「過誤納還付金」の各事業に要する経費の追加です。

〈審査経過〉

個人宅向け防犯機器等購入緊急補助について、都の事業ではあるが、区で実施する上乗せ分として最大300万円の支出を想定していること。想定申請数は、住宅・土地統計調査や区の住宅事情を踏まえて150世帯としているが、想定を上回る申請があった場合には財政部門と協議の上、受理する方向で考えていること等が明らかになりました。

「災害対策用備蓄物資（食料）の購入について」は、災害対策用備蓄物資としてアルファ化米等の食料を購入するものです。

〈審査経過〉

参加事業者は昨年と同じ業者であり、契約制度を正しく進めているなかでの結果ではあるが、様々な業者に入札参加してもらえるよう、所管部署と相談しながら、引き続き検討していく考えであること等が明らかになりました。

その他、「職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」等8議案を審査しました。

文教福祉委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区保育の実施に関する条例等の一部を改正する条例」は、「千代田区保育の実施に関する条例」、「千代田区立こども園条例」及び「千代田区立幼稚園使用条例」について、東京都の補助制度の拡充に伴い、第一子に係る通常の保育料を無償化するように改めるほか、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

認可外であっても、区が現在補助している保育所は補助金の対象となること。無償化の影響による保育の質の低下、保育所間の格差等の懸念に対しては、幼保合同研修や定期的な現場視察等による質の確保を図りながら、区民が公立・私立を問わず保育所を選べるようになるための努力をしていくこと等が明らかになりました。

「幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」は、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正に伴い、職員の仕事と育児との両立を支援するため、教育委員会の義務を定めるほか、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

職員の育児・介護休業の取得に伴う人員不足に対しては、臨時的任用職員を活用することで人材を確保していくこと等が明らかになりました。

その他、令和6年度のねずみ対策結果及び令和7年度実施内容等について報告がありました。



定例会活動報告

常任委員会では、区長提出議案13件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

常任委員会

環境まちづくり委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」は、神田佐久間町地区地区計画の変更に伴い、この条例に定める同地区地区整備計画における計画地区の区分を追加し、建築物の用途制限、敷地面積の最低限度、壁面の位置の制限及び高さの最高限度について定めるほか、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

区分を追加する地区は、都市計画提案の法定要件である土地所有者及び借地権者の3分の2以上の同意を満たして、提案書が提出されたこと。この再開発計画における風や交通量等の影響については事前に調査を行い、シミュレーションを踏まえて近隣説明会を行ったこと。地域らしさの店舗誘導等については、都市計画法あるいは建築基準法において制限できないため、誘致したい店舗については、地域全体として、都市計画とは別の形で協定などをつくっていく必要があること等が明らかになりました。

その他、「事業者向け環境配慮行動宣言『ちよエコ未来企業宣言/ちよエコ未来事業者宣言』開始について」「夏休みの公園でのボール遊び等について」「東郷元帥記念公園の上段部利用開始について」「食品ロス削減絵画・標語展について」「ウォーカブルなまちづくりの取組みについて」「神保町地域のまちづくりについて」の報告がありました。

特別委員会

デジタル・トランスフォーメーション特別委員会

令和7年度に実施する「区民参加型デジタルプロジェクト」について、具体的な実施イメージやスケジュールの報告がありました。公募により区内在住の中学生15名程度を対象とし、参加者には最新のDX技術の見学・体験を通じ、デジタル技術による行政課題へのアプローチ方法のイメージを持ってもらった上で、区が設定するテーマへの対応をワークショップ形式で話し合い、プレゼンテーションを実施してもらうとの説明がありました。参加者からのプレゼンテーションの内容については、その後、区において事業へ反映させるか検討するとのことでした。

その他、「ワークプレイス変革に向けたオフィス整備の実施について」「基幹業務システムの統一・標準化の取組みに関する進捗状況について」の報告がありました。

契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会

契約にかかる不正行為等再発防止策の調査を進めるにあたり、当委員会において刑事確定訴訟記録を確認する必要があると判断したことから、東京地方検察庁に対して進めている閲覧手続きについて、進捗状況の報告がありました。現時点では、東京地方検察庁から閲覧の可否について回答がないとの説明がありました。

質疑の中で、前回の委員会以降、閲覧の手続きについて東京地方検察庁とどのようなやり取りがあったのか、刑事確定訴訟記録の閲覧から得られる情報の検証方法や活用方法について確認しました。委員長からは、刑事確定訴訟記録の閲覧予定者委員4名の報告があり、閲覧が認められた場合は、日程調整の上、閲覧作業を進めることを確認しました。

本会議における討論

千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例

可決

討論の録画映像は
こちらから



〈討論〉

【反対の意見】

本議案は、神田佐久間町地区の地区計画を変更し、建築物等の制限を改正するもの。これによって超高層ビルが建設可能となり、新たに建てられたビルの賃料や管理費等はもとより、周辺の地価も上昇することは容易に想像できる。物価高騰が住民の暮らしや商店の営業を脅かす中、区は地権者や周辺住民と十分に相談をし、超高層ビル建設以外のまちづくりのあり方を真剣に探究すべきと考え、本議案に反対する。

【牛尾】

【賛成の意見】

本議案は、まちづくりの方向性として地域の持続可能な発展や災害に強い都市構造を目指し、地域住民の安全・安心に直結するものと認識している。今回の改正は住民参加型のまちづくりとして多様な意見や要望を反映しながら進められてきたものであり、こういったプロセス自体が地域コミュニティの絆を深め、合意形成によるまちづくりのモデルケースになると考える。以上の理由から本議案に賛成する。【白川】



可決した意見書

児童のメンタルケア医療に 従事する医師の確保を求める意見書

全会一致

近年、学校や家庭環境、SNSを介した人間関係、コロナ禍を経た社会変容など、児童を取り巻く環境は多様化・複雑化しています。また、児童のメンタルヘルスの問題も深刻化しており、不登校や子どもの自殺者数の増加といった社会問題の原因ともいわれています。こうした状況の中、地域医療における児童精神分野の需要は高まっているものの、専門医の育成や医療機関の不足は全国的な課題となっています。

これらの解決には、医療費削減の懸念や、保護者のメンタルケアの問題もあるなど千代田区単独での対応には限界があり、国、都による広域的な施策展開、支援が不可欠です。つきましては、国、東京都に以下2点を要望いたします。

- 専門医の確保を図ること
- メンタルヘルス医療では、一般的に診察時間も長く、継続的な診療が必要となるため、

限られた医療機関で対応している現在の状況下においては、メンタルケアを必要とする児童が受診までに時間を要することもあります。児童のメンタルケアには早期発見と適切な治療が重要であり、従事する専門医の確保は喫緊の課題です。

- 専門医の育成体制の強化を図ること
- 児童等のメンタルヘルス医療体制を地域で確保していくためには、専門医の確保とともに、その育成体制も同時に強化することが重要です。そのためには、国・都道府県といった広域での育成スキームの構築が必要です。

よって、千代田区議会は、児童の健全な成長、区民が安心できる地域社会の実現に向けて、国、東京都が児童等のメンタルケア医療に従事する医師の確保、育成のための施策をより推進することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、東京都知事

まちづくりに対する 緊急支援を求める意見書

討論の録画映像は
こちらから



早くから都市化された千代田区は、多くの建築物や道路、鉄道、上下水道、エネルギーをはじめとした様々な都市基盤が老朽化による機能更新の時期を迎えています。

機能更新に際しては、まちの文脈に沿ったまちづくりを行うとともに、国際都市東京の中心として日本の経済、活力を牽引する役割も踏まえ、首都直下地震などの大規模災害への対応力を備えた強靱な都市基盤整備を推進しています。

一方、我が国の経済は、物価や人件費の高騰に伴い工事費の上昇が続いており、建築物の機能更新のための再開発事業は停滞し、都市基盤整備についてもインフレスライドにより年々補正予算を組まなければならない状況が続くなど、区の投資的経費の算定に影響を及ぼしています。

また、本年3月の社会資本整備総合交付金要綱改正により、補助対象となる市街地再開発事業の絞り込みが行われることで、地域が検討を進めてきた市街地再開発事業についても、都市計画決定の時期によっては交付金が受けとれなくなるとのことですが、千代田区民の高額な固定資産税等の負担を考慮すると経過措置期間の延長や補助対象、リノベーション施策の拡充など都市の文脈に沿った国土強靱策の拡充について再考が必要と考えます。

さらに、八潮市における事故により、特に水道管等、都市基盤の老朽化や劣化は、多くの人の安全、生活を奪い、脅かす深刻な問題であることが改めて浮き彫りになり、上下水道、電気、ガス、通信、物流などのライフラインの強靱化や多重性の確保を進めていくことが急務であることは言うまでもありません。

しかし、千代田区もしく、基礎的自治体にとって、かかる工事費高騰下においては、まちの機能更新・強靱な都市基盤整備に必要な財源を確保し続けることは困難です。

よって、千代田区議会は国および都知事に対し、下記の事項についての対応を強く求めます。

記

- 歴史が育んだ風格ある街並みを維持するため、税制優遇措置や修繕費用支援、区域外における公共貢献評価の拡充等、保全・活用を促す総合的な支援を検討すること。

- まちの将来像を永年にわたり検討し、防災力や治安、まちの魅力の向上を最大限追求して都市計画決定まで至った地域住民のためである事業が円滑に推進されるよう、前向きなまちづくりへの支援を検討すること。
- 電線類の地中化は、災害時の電柱倒壊等による道路の寸断を防ぐことから推進すべきものであり、再開発を契機とする際は、隣接する周辺地区もあわせて実施されていくことが有効であるため、区や事業者が推進する無電柱化を補助する制度・予算を拡充すること。
- 都市施設の更新、都市空間及び都市環境の整備は、範囲も広域であり、時間もかかるためその費用については長期的な視点での資金的支援を検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、東京都知事

〈討論〉

【反対の意見】

本意見書は社会資本整備総合交付金の要綱改正に伴い補助対象の市街地再開発が絞られる可能性があることから、まちづくりへの支援を求めるもの。しかし、その内容は市街地再開発の推進である。持続可能なまちづくりのためには、再開発だけに頼らない方法を真剣に模索すべき。防災やインフラ整備等で大事な点もあるが、容積率のさらなる規制緩和等全体では再開発を進める内容であり、賛同できない。よって本議案に反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

本区は戦後早期に都市化が進み、インフラの多くに老朽化の懸念がある。費用高騰で更新機会を失うと防災性が削がれ、区民や事業者は高額な税負担にもかかわらず、都市価値が低下することに不安を感じている。本区のまちづくりはインフラ整備だけでなく、歴史・文化・芸術を未来につなぐものであり、都や国の財政・制度面からの積極的関与でこれらを加速させることが不可欠。よって本議案に賛成する。 【岩佐】

可決した決議

岩田かずひと議員の行為を戒め、議会の品位を重んじることを求める決議

岩田かずひと議員は、令和7年6月25日の第2回区議会定例会の一般質問において、通告なく他会派への個人的な要求を求める抗議を行いました。

本来、一般質問は、会議規則第58条において、「区的一般事務」について行うものと定められています。加えて、「期間内に議長にその要旨を文書で通告しなければならない」と定められているにもかかわらず、そのいずれも遵守することなく、本会議の場において、執行機関への質問ではなく、他会派に対する謝罪を要求しました。また、福島第一原発事故後の除染で出た安全基準に合致している「再生土」を「放射能汚染土」と言い換え、災害復興に協力する自治体の取り組みを妨害する風評被害にもつながる問題発言をしています。

この行為は、高い倫理観が求められる議員として、到底相応しいものではなく、区民の信頼をも裏切る行為であり、決して許されるものではありません。

岩田かずひと議員は、これまでも議会の品位を冒涇するような行為を繰り返しています。令和元年第4回区議会定例会の一般質問では、区内再開発を巡る問題発言や、令和3年第4回区議会定例会の一般質問では、質問内容のほとんどがインターネット動画の転載であ

ることに加えて出所を明示しないという行為を重ねてきました。

また、令和4年第1回区議会定例会の一般質問では、個人的な憶測による不穏当極まりない発言に対し「岩田かずひと議員の本会議質問における発言に対する猛省を促す決議」が議決されるという事態に至りました。

さらに、令和4年9月21日第3回区議会定例会の一般質問では、憶測で区職員を名指しで批判したほか、記録用に撮影していた行為を「盗撮」と断じるなど、公開の場である議場に相応しくない発言を繰り返し、謝罪も発言の取消しも行わなかったため、「岩田かずひと議員の本会議質問における発言に対する問責決議」が議決されました。加えて、令和6年第4回定例会の一般質問でも、発言通告の範囲を超える再質問を行い、議長の制止も聞かず、発言を強行しています。

こうした岩田かずひと議員の幾多にも及ぶ不適切な行動は、再三にわたる注意や決議を経ても全く改善されません。これは、議会の品位を重んじる義務を定めた会議規則第98条に反するものです。

よって、区議会として岩田かずひと議員に対し、区民代表たる議員に相応しくない行為を戒めるとともに、改めて議会の品位を重んじるよう強く求めるものであります。

以上、決議する。

令和7年7月4日

千代田区議会



委員会で取り扱った請願・陳情（令和7年3月28日～7月4日）

詳細は、区議会ホームページで
ご覧になれます。



請願・陳情名(受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和7年7月4日時点)
外神田一丁目再開発のエリア内の区有施設の情報共有に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
日本テレビ再開発提案に関し事業者と地域住民間の調整を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
日本テレビ本社跡地の再開発に伴う二番町地区計画変更に関連し、 区議会及び都市計画審議会において住民・事業者双方からの直接意見聴取等を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
日本テレビ本社跡地再開発に伴う二番町地区地区計画変更に関連して 区議会及び都市計画審議会の速やかな審議と反対住民の審議遅延行為に毅然とした対応を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
陳情書「二番町日本テレビ本社跡地再開発案に関して、 地域住民の意見を出来る限り正確に把握していただきたいこと」について。	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区地区計画の変更について「陳情書」	環境まちづくり委員会	審査終了
日本テレビ再開発の意思決定プロセスに対する陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区計画変更に関する影響調査実施に関する陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
日本テレビ再開発案に対する民意の把握を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
千代田清掃事務所及び千代田万世会館の機能更新等に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
日本テレビ再開発による地域活性化を求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発の直近の事業計画案を示すよう求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
(1)二番町地区地区計画変更案に対し実施された都市計画法16条及び17条意見書の集計・報告の正確さと 公平さに関する調査、並びに(2)今後の再度実施される16条・17条に基づく意見書における募集手続き及び 集計・報告の正確性と公正さを求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例審査前に公共施設である清掃事務所について 区民から意見を聞き大方の区民意見を取り入れることを求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
千代田区二番町地区計画変更に対する区議会環境まちづくり委員会並びに都市計画審議会の委員による 充分なる検証実施の陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区地区計画の変更に関して、住民への詳細説明及び都市計画法第16条第1項の公聴会の 開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区地区計画の変更に係る説明会及び意見書の取り扱い方に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区計画の変更について、広く番町・麹町地域の地域住民を対象とする説明会を 至急開催することを求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区地区計画の早期変更を要望する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区地区計画変更においてサイレントマジョリティである子育て世代の意見を聞き、 未来の子供たちのための前向きな議論を求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区計画早期変更に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
教育環境を守る要望書を区議会で受け止め、慎重に審議を進めること求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
都市計画法第17条に基づく「二番町地区地区計画の変更に係る説明会」 および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
「都市計画法第17条に基づく『「二番町地区地区計画の変更に係る説明会」 および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情(送付5-54)」に関する追加の陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
都市計画法第17条に基づく二番町地区地区計画の変更に係る意見募集に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
外神田一丁目計画について手続きの調査を求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、区民をはじめ多様な人が話し合って決める まちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
東京都市計画地区計画 二番町地区地区計画(変更)に関する意見書についての調査と提出のやり直しを 求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
神田警察通りⅡ期工事に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
神田警察通り道路整備工事、2 期工事の中断と整備内容の変更を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
神田警察署通りの街路樹を守る会のメンバーに対する仮処分の申し立て件についての陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
千代田区議会議員政治倫理条例の制定を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会	審査終了
千代田区都市計画審議会における「二番町地区地区計画の変更」の採決の法的問題点の確認を 議会から区に求めていると陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
異議申し立て中の神田警察通りイチョウ伐採についての陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
千代田区「道路の移動等円滑化の基準」の歩道の有効幅員について、 東京都と同様、附則に「やむを得ない場合」の経過措置を設けることを求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
都市計画審議会による「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の優先事項の確認と、 実効性ある実施を議会から区に求めていると陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通り沿道整備推進協議会の委員を多様性と男女共同参画の視点から早急に見直すことを求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
自転車道と歩道拡幅工事について4期、5期を早期に開始して下さい。	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区計画附帯決議の実行についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の「全ての関係者が」話し合える場づくりの開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りの街路樹に関わる経緯の再整理と代替案を提案する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町計画の附帯決議に基づく適切な「前向きな話し合いの場」をお願いする陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区再開発に関する話し合いの場に係る陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区の官製談合事件の真相究明のために、第三者委員会もしくは百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
千代田区議会議員政治倫理条例の制定を早急に求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会	審査終了
神田警察通り第二期工事区間道路整備についての陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
千代田区デジタル・トランスフォーメーション(DX)戦略に関する陳情	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会	審査終了
千代田区三番町の土砂災害警戒区域の解消の陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町地区再開発に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都計審の附帯決議に基づく適切な「前向きに話し合える場」つくりに関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通り道路整備二期工事に伴うイチョウの保存についての陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
千代田区の住宅施策に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
選択的夫婦別姓制度を求める意見書に関する陳情	企画総務委員会	審査終了

議案の審議結果等

(令和7年第2回定例会)

可

(可決)

否

(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称		議案名等	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日		
								西岡めぐみ	大坂隆洋	のざわ哲夫	小枝すみ子	えごし雄一	米田かずや	牛尾こうじろう	岩佐りょう子	小野なりこ	池田とものり	はやお恭一	春山あすか	欠員	白川司	永田壮一	入山たけひこ	田中えりか	岩田かずひと	小林たかや	欠員	ふかみ貴子	桜井ただし	秋谷こうき	おのでら亮	富山あゆみ			
								自民党	自民党	維新	声	公明	公明	共産党	次世代	次世代	自民党	自民党	維新		自民	自民	次世代	国民	次世代	自民党		次世代	自民	次世代	次世代	自民			
委員会提出議案	児童のメンタルケア医療に従事する医師の確保を求める意見書	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○		○	○	7/4		
議員提出議案	まちづくりに対する緊急支援を求める意見書	23	22	20	2	可		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○			○	○	○	○	×	○		○	○		○	○	7/4	
	岩田かずひと議員の行為を戒め、議会の品位を重んじることを求める決議	14	13	13	0	可	退	退	○	退	○	○	退	○	○	退	退	○			○	○	○	退	除	退		○	○		○	○	7/4		
区長提出議案	令和7年度千代田区一般会計補正予算第1号	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	7/4	
	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	議長は採決に 加わりません	○	○	7/4	
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	7/4	
	千代田区特別区税条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	7/4	
	千代田区保育の実施に関する条例等の一部を改正する条例	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	7/4	
	千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	23	22	20	2	可		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	×	○		○		○	○	○	7/4
	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	7/4
	西神田コスモス館外壁・屋上防水等改修工事請負契約について	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	7/4
	区立内幸町ホール改修舞台照明設備工事請負契約について	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	7/4
	区立内幸町ホール改修舞台音響設備工事請負契約について	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	7/4
	災害対策用備蓄物資(食料)の購入について	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	7/4
	議場会議システム及びAV機器の購入について	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	7/4
区立内幸町ホール改修工事請負契約について	23	22	22	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	7/4	
報告	令和6年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																										6/25								
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者について(指名推選)		候補者 池田 とものり議員																									6/11								

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数23名
◇ 会派名 次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代)／千代田区議会 自由民主党(自民党)／千代田区議会自由民主党議員団(自民) 公明党議員団(公明)／日本維新の会千代田議員団(維新)／日本共産党(共産党)／国民民主党(国民)／ちよだの声(声)

千代田区
平和使節団へ参加

■おのでら 亮 議員

場所 沖縄県

期間 令和7年7月23日(水)～25日(金)

■白川 司 議員

場所 広島県

期間 令和7年8月5日(火)～7日(木)

■小林 たかや 議員

場所 長崎県

期間 令和7年8月8日(金)～10日(日)

令和7年第3回
定例会の主な日程

9/10(水)	告示日
9/17(水)	招集日
9/25(木)	代表・一般質問
9/26(金)	一般質問

※日程は変更となる場合があります
※詳細は区議会ホームページをご覧ください

区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎富山 あゆみ(自民)
○牛尾 こうじろう(共産党)
西岡 めぐみ(自民党)
のざわ 哲夫(維新)
小枝 すみ子(声)

えごし 雄一(公明)
岩佐 りょう子(次世代)
田中 えりか(国民)
ふかみ 貴子(次世代)

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式X(旧Twitter)」も発信していますので、ぜひご利用ください。

ホームページアドレス
https://gikai-chiyoda-tokyo.jp

メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

公式X(旧Twitter)
@Chiyoda_Kugikai

ご希望の方には「ちよだ区議会だより」を郵送致します。区議会事務局までご連絡ください。

ミックス紙
FSC FSC® C182036